

**（新）南の口公園における協働型公園としての
運営体制等の構築支援業務
報 告 書**

令和8年3月31日



目 次

第1章 業務の概要

1-1. 業務の背景と目的.....	1
1-2. 今年度の取り組みとスケジュール.....	2

第2章 これまでの取り組み

2-1. 整理の目的	3
2-2. これまでの取り組みについて.....	3

第3章 みんなで公園を育てるしくみづくり

3-1. 組織化に向けた会議の実施概要.....	5
3-2. 活動理念の整理.....	6
3-3. 団体会則の検討.....	8
3-4. 年間活動スケジュールの検討.....	8
3-5. 新たな運営団体の運営スキームの検討.....	9

第4章 社会実験の実施支援

4-1. 社会実験の位置づけ.....	10
4-2. サポーター会議による企画・準備のプロセス.....	11
4-3. 社会実験当日の実施概要.....	20
4-4. アンケート調査と結果.....	23

第5章 オープニングイベントに向けた準備支援

5-1. オープニングイベントの位置づけの再整理.....	25
5-2. 開催時期の検討.....	25
5-3. 二段階実施の考え方.....	26
5-4. 実施内容の整理.....	27
5-5. オープン後の運営を見据えた公園利用ルールの検討.....	28

第6章 広報・情報発信支援

6-1. ワークショップチラシの作成.....	29
6-2. 社会実験チラシ・ポスターの作成.....	30
6-3. ウェブページの作成.....	33

第7章 総括

7-1. 今年度業務の成果.....	34
7-2. 今後の課題	34
7-3. 次年度に向けた方向性.....	36

第1章 業務の概要

1-1 業務の背景と目的

大庄西中学校の跡地では、令和8年度のオープンに向けて、(新)南の口公園とコミュニティスペースの整備が進められています。

新しい公園が目指しているのは、行政だけで管理する公園ではなく、地域みなさんと行政が一緒になって育てていく「協働型公園」です。子どもたちが安心して遊び、大人もゆっくり過ごせること。イベントを楽しむだけでなく、日々の暮らしのなかで自然に人が集まり、顔の見える関係が生まれること。そんな「みんなの居場所」となることを目指しています。

これまでも、地域みなさんと一緒に、公園の使い方を考えるワークショップやサポーター会議、社会実験などを重ねてきました。今年度は、こうした取り組みをさらに一歩進め、新しい公園の運営に関わる仲間や仕組みをつくるとともに、現在の南の口公園でのお別れイベントや、新しい公園のオープニングイベントについて話し合いました。

本業務では、会議やイベントの企画・運営、ルールづくり、情報発信などを支援しながら、地域みなさんがそれぞれのペースで公園に関わり、一緒に育てていける体制づくりを進めました。

1-2 今年度の取り組みとスケジュール

今年度は、新しい公園の運営体制づくりを進めながら、現在の南の口公園で開催する「お別れ会」の企画や、新しい公園のオープニングに向けた話し合いを重ねました。あわせて、ニュースレターやホームページを通じて、活動の様子を地域の方々にお知らせしました。

	2025 年 5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2026 年 1 月	2 月	3 月
業務開始・準備	●										
サポーター会議					●		●	●	●	●	●
運営体制・ルールづくり		●	●	●				●	●	●	
お別れ会の企画・準備					●	●	●	●	●	●	●
お別れ会の開催											●
オープニングイベントの検討									●	●	●
ニュースレター・ホームページによる情報発信					●	●	●	●	●	●	●
活動の振り返り・報告書作成										●	●

※2025 年 5 月から 12 月、2026 年 1 月から 3 月までの取り組みを示しています。

※「●」は、各取り組みを実施した時期を示しています。

第2章 これまでの取り組み

2-1 整理の目的

(新)南の口公園に向けた取り組みは、今年度から始まったものではありません。旧大庄西中学校の跡地活用を考えると、地域のみなさんとの話し合いや社会実験を重ね、少しずつ新しい公園の姿をつくってきました。



2-2 これまでの取り組みについて

(1) これまでの取り組みのふりかえり

2021 年度 跡地の使い方を考える

旧大庄西中学校の跡地をどのような場所にしていくのかを考える「大庄未来につなぐまちづくりワークショップ」を開催しました。地域団体や子育て世代、子ども会、PTA、公募で集まったみなさんなど、さまざまな立場の人が参加し、地域に必要な場所や機能について話し合いました。

2022 年度 新しい公園の姿を考える

「公園で何しよう?意見交換会」を6回開催しました。新しい公園でやってみたいことや、必要な設備、過ごし方などについて意見を出し合い、公園のゾーニングやイメージパースをつくりました。

この話し合いを通じて、行政だけでなく地域のみなさんも関わりながら、公園と一緒に育てていく「協働型公園」の考え方が共有されました。

2023 年度 公園の使い方を試してみる

「南の口公園サポーター会議」を5回開催し、新しい公園でやってみたい活動について話し合いました。

9月には、地域のみなさんがやってみたいことを発表する「タコピッチ」を開催しました。あわせて、子どもたちが参加できるTシャツペイントなども行い、公園の新しい使い方を実際に試す機会となりました。

2024 年度 地域のみなさんが企画・運営する

引き続きサポーター会議を開催し、参加者が中心となって企画や準備を進めました。11月の「タコフェス」では、新しい公園でやってみたい5つの企画を実施しました。

さらに3月には、地域のみなさんの「自分たちでも企画を実施できるのではないか」という思いから、「タコフェス夜市」が開催されました。飲食や音楽、ドッグランなどを通じて、世代をこえて楽しめる場が生まれました。

2025 年度 公園を一緒に運営する準備へ

これまでの話し合いや社会実験を踏まえ、今年度は、公園を使うだけでなく、地域のみなさんと一緒に運営していくための準備を進めました。

サポーター会議やコア会議を通じて、活動理念やルール、運営体制について話し合うとともに、現在の南の口公園のお別れ会や、新しい公園のオープニングイベントについて検討しました。

(2) 最終計画として整理された整備内容

地域のみなさんとの話し合いを重ねながら、(新)南の口公園の計画が少しずつ具体的になり、次のような公園として整備することがまとめられました。

公園の中心には、のんびり過ごしたり、地域のイベントを開催したりできる芝生広場を設けます。広場の近くにはステージや電源設備を配置し、みんなで集まる活動にも利用できるようにしました。また、スポーツや日常的な活動に使える多目的広場や、体育館と一緒に利用できるバスケットコートも整備することになりました。

子どもたちの遊び場は、幼児向けと児童向けのエリアに分け、新しいタコ遊具をはじめ、ネット遊具やターザンロープなどを設置します。その間には、幅広い年齢の子どもたちが一緒に楽しめる「みずの遊び場」を設けます。起伏のある築山や花木など、自然にふれられる場所も取り入れることになりました。

そのほか、健康遊具、駐輪スペース、トイレ、休憩に使えるパーゴラなどを配置します。また、災害時に利用できるマンホールトイレや手押しポンプ付きの貯水槽など、いざというときに地域を支える設備も整備する計画です。



第3章 みんなで公園を育てるしくみづくり

(新) 南の口公園では、地域みなさんと行政が一緒になって公園を育てていく「協働型公園」を目指しています。そのためには、新しい公園の使い方を考えるだけでなく、オープン後の活動や運営を担っていく体制を整えることも必要です。

本章では、サポーターとして関わってきた地域みなさんが、新しい運営団体として活動していくために、今年度どのような準備を進めたのかを紹介します。

3-1 組織化に向けた会議の実施概要

今年度の組織化に向けた取り組みは、昨年度までサポーター会議に参加してきたメンバーを基盤として進めました。

昨年度の最後に開催した「タコフェス夜市」では、サポーター会議のなかでも特に中心的に関わってきたメンバーが、主体となって企画・運営を担いました。今年度は、こうしたコアメンバーと、その周囲で活動に関わってきたサポーターを含め、今後どのような組織をつくっていくのかを整理する必要がありました。

そこで、まずはこれまで中心となって活動してきたコアメンバーに集ってもらい、これまでの取り組みを振り返るとともに、現在感じていることや、今後の組織づくりについて話を聞きました。

その後、今年度は新しいメンバーを募集しながらサポーター会議を進めることになったため、その動きと並行して、コアメンバーの構成も改めて整理し、コア会議を開催しました。

コア会議では、これまでのメンバーの経験や思いを大切にしながら、新しい参加者も含めた体制づくりについて検討しました。また、活動理念の確認に加え、会則、公園のルール、役割分担、年間活動スケジュールなど、運営団体の組織化に向けて必要となることを、段階的に話し合いました。あわせて、次年度からの活動や組織の動きについても確認しました。今年度実施したコア会議の概要は、以下のとおりです。

回	実施日	主な内容
1	2025 年 6 月 21 日 (土)	団体の現状把握、抱えている課題等に関するヒアリング
2	7 月 19 日 (土)	組織化に向けた検討、会則や銀行口座の必要性の確認
3	8 月 30 日 (土)	活動理念（たたき台）の確認・整理
4	12 月 6 日 (土)	コア会議の役割やルールの検討、活動理念の決定
5	2026 年 1 月 17 日 (土)	ルールの検討、お別れ会のタイトルに関する協議
6	2 月 7 日 (土)	ルールの決定、年間スケジュールの検討、会則の作成
7	3 月 14 日 (土)	年間スケジュールの検討

3-2 活動理念の整理

運営団体の組織化を進めるにあたり、まずは活動の目的や目指す方向性を言葉にし、関わる人たちの間で共有することが必要でした。そこで、活動理念を「たたき台をつくる」「サポーター会議で意見を聞く」「コア会議で決定する」という3つの段階で整理しました。

第1段階 コアメンバーによるたたき台づくり

まず、昨年度までサポーター会議に参加していたコアメンバーが集まり、これまでの取り組みを振り返りました。そのうえで、公園やコミュニティスペースをどのような場として育てていきたいか、どのような人たちが、どのように関われる場を目指すのかについて話し合いました。

話し合いから出てきた「みんなの居場所」「顔の見える関係性」「子どもが遊び育つ場」「大人も学び合い成長できる場」「自分のペースで関われるひらかれた活動」といった言葉をもとに、活動理念のたたき台をつくりました。

公園全体の活動理念（たたき）

私たちは、この公園を、子どもも大人も自然とつどう「みんなの居場所」として育てていきたいと考えています。
ここに来れば誰かがいて、ふらっと立ち寄るだけで世代や立場をこえてつながり、「顔の見える関係性」が生まれます。
子どもが遊び育つ場所であると同時に、大人も人と関わり学び合い、成長できる場です。
「誰かの力になりたい」「地域と関わりたい」「ちょっと一息つきたい」——そんな想いを持つ人が、負担のない規模で自分のペースで関われるひらかれた活動をめざします。
ワクワクが広がるこの場所で、「Ready Go!」の気持ちで歩み出しましょう。

この文章をもとに皆さんと一緒に活動理念を意見交換します。



次回のサポーター会議（11/1）に整理したものを発表

第2段階 サポーター会議での意見交換

次に、第1回サポーター会議で、新しく参加したメンバーも交え、活動理念のたたき台について意見を出し合いました。

話し合いでは、次のようなことを大切にしたいという意見が出されました。

- 安心して遊べる、安全な場所であること
- 世代や立場をこえてつながれること
- 誰もが無理なく、自分のペースで関われること
- （新）南の口公園ならではの特徴を持つこと
- 日常の居心地と、特別な活動のワクワクが両立すること

特に、子どもを持つ親にとって、信頼できる人の目があることや、それぞれが無理のない範囲で参加できること、多様な人が関わり続けられる場であることが大切だという意見が共有されました。

第3段階 コア会議での決定

最後に、サポーター会議で出された意見をコア会議で改めて整理し、活動理念を次のように決定しました。

活動理念の背景

たたきをもとにワークショップで意見交換。出てきた言葉やフレーズを整理。

●安心・安全

「安心して遊べる」「安全な場所」という意見。特に子どもを持つ親にとっては、**信頼できる人の目がある**ことが重要。

●世代や立場をこえてつなげる

「顔の見える関係性」「世代をこえて出会える場」といった意見。

●無理なく関われるひらかれた活動

「自分のペースで」「負担のない関わり方」という意見。

誰でも気軽に関われるからこそ、**多様な人が参加し続けられる場**になる。

●公園ならではの特色

「禁止看板のない公園」「みんなでルールを話し合う」という意見。

公園が単なる憩いの場ではなく、**利用者自身が育てていきたいという思い**がある。

●日常と非日常の両立

「今日行くところ」「一息つける場」として日常的に親しまれ、時には「イベントや活動でワクワクが広がる」非日常もある。その両面性が南の口公園らしさとして意見されました。

「みんなが安心して集い、つながりを育み、無理なく関われる公園」という理念
⇒テーマを「**みんなの居場所をつくる**」

活動理念

みんなの居場所をつくる

自然と集い、世代や立場をこえてつながります。
ここに来れば誰かがいて、安心して過ごせる「顔の見える関係性」が広がります。
ワクワクの輪をひろげながら、「Ready Go!」の気持ちで歩み出しましょう。

活動する上で大切にしたいこと

- ・子どもが安心して遊び、大人も学び合える
- ・日常の居心地と、活動を通じた非日常のワクワクが両立
- ・自分のペースで関われるひらかれた活動
- ・みんなでルールを話し合い、安全・安心を守り育てる

メイン
変えない

サブ
適宜見直し

3-3 団体会則の検討

運営団体として継続的に活動していくためには、活動理念を共有するだけでなく、団体の基本的なルールを整えることも必要です。そこで、団体会則について、2つの段階に分けて検討しました。

第1段階では、7月にコアメンバーによる会議を開き、組織化に向けて何が必要なのかを整理しました。団体の形や役割分担、意思決定の方法、会計や団体口座の扱いなど、会則をつくるうえで基本となる内容を確認しました。

このとき、会則を事務局が一方的に決めるのではなく、これから団体を担っていくメンバー自身が考え、つくっていくことを大切にするという考え方も共有しました。

第2段階では、団体のメンバーが会則案のたたき台を作成し、事務局がその内容を確認しながら、必要な助言を行いました。

具体的には、団体の目的が活動理念と合っているか、会員をどのような範囲とするか、役員や事務局がどのような役割を担うかなどについて確認しました。そのほか、役員の任期、会計年度、会則を変更する場合の進め方、団体を解散する場合の財産の扱いなどについても、今後整理しておきたい点を共有しました。

あわせて、団体名義の口座を開設するために必要となる書類や体制についても確認しました。

3-4 年間活動スケジュールの検討

2月と3月のコア会議では、次年度のサポーター会議、コア会議、イベントなどを年間活動スケジュールとして整理しました。

スケジュール								
	2026年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
サポーター 会議	●WS 4/4(土) お別れ会 の振り返り	●WS 5/9(土) 新公園 内覧	●WS 6/6(土)	●WS 7/4(土) 協働イベ ント企画 1	●WS 8/1(土) 協働イベ ント企画 2	●WS 9/5(土) 協働イベ ント企画 3	●WS 10/3(土)	●WS 11/7(土) 12/5(土)
イベン ト		広報 	テーブ カット？			広報 	第1回 協働イ ベント？	
コア 会議	団体設立							
サポーター会議は、基本第1土曜日（5月のみ翌週）								

3-5 新たな運営団体の運営スキームの検討

(1) 公園利用の考え方

公園の利用は、「日常利用」と「イベント利用」に分けて考えました。

日常利用では、散歩やピクニック、ボール遊び、バスケットボール、遊具遊びなどを、一定のルールやマナーを守りながら自由に楽しむことを基本とします。

イベント利用では、マルシェや音楽、スポーツ、ドッグランなどを、地域のみなさんと行政が相談しながら企画・実施します。そのほか、防災、昔遊び、クラフト、植物観察、読み聞かせなど、さまざまな活動の可能性についても確認しました。



(2) イベント展開とサポーター会議の役割

小さな活動を不定期に行いながら、年に1回以上は、さまざまな人や団体が協力するイベントを開催することを想定しています。

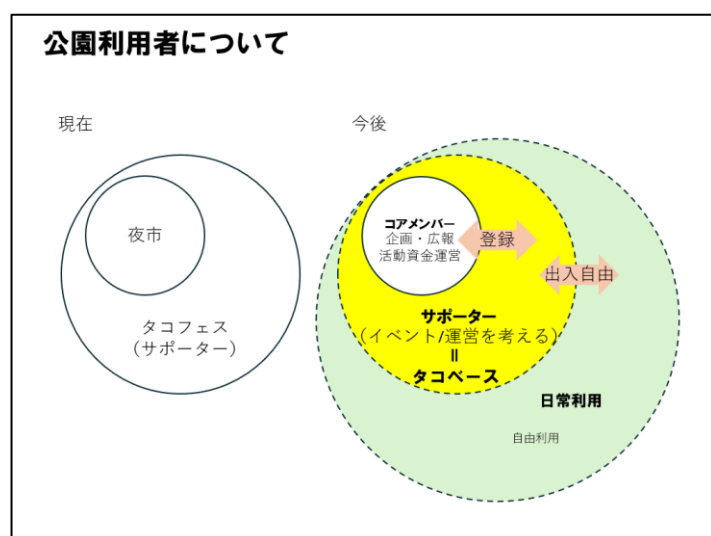
サポーター会議は、日頃の活動を共有し、地域のニーズに合った企画や公園のルールについて話し合う場として位置づけました。



(3) 組織体制の考え方

これまでの「サポーター」の活動は、今後「タコベース」という名称で再整理し、コアメンバーが中心となって、全体の企画、広報、会計などを担うことを想定しています。

一方で、活動を運営する人と公園を利用する人を明確に分けるのではなく、それぞれが重なり合いながら、自分に合った形で公園に関わる、ひらかれた運営を目指します。



第4章 社会実験の実施支援

4-1 社会実験の位置づけ

(新)南の口公園では、地域のみなさんが主体となって公園を活用し、さまざまな活動を広げていくことを目指しています。これまでも社会実験を行い、夜間のイベントや音の出る活動などを試しながら、公園の使い方やルール、周辺への配慮について考えてきました。

一方で、イベントの規模が大きくなるにつれて、地域のみなさん、行政、関係者が役割を分担し、連携して運営することが必要となる場面もありました。

そこで今年度は、イベントの開催だけを目的とするのではなく、関係する人たちが無理なく役割を分担し、企画・準備・運営に関われる方法を検討することを重視しました。また、その過程で見えてきた課題を、今後の運営団体づくりや公園のルール、運営方法に活かすことも目的としました。

本章では、サポーター会議での話し合いから、広報、関係者との調整、役割分担、当日の運営までの流れを振り返り、社会実験を通じて見えてきた成果と今後の課題を整理します。

本社会実験の位置づけは、以下のとおりです。

位置づけ

- ・地域住民が自分たちの規模感で無理なく企画・運営に関われるかを検証する機会
- ・イベントの実施そのものに加え、企画・準備・運営の過程で見える課題を把握する機会
- ・見えてきた課題を、今後の運営団体の組織づくりや公園利用ルール、運営のあり方に反映するための機会

4-2 サポーター会議による企画・準備のプロセス

今年度の社会実験に向けた企画・準備は、サポーター会議での話し合いを重ねながら、段階的に進めました。話し合いでは、大きく2つのテーマを取り上げました。

一つ目は、長年にわたって地域みなさんに親しまれてきた現在の南の口公園に感謝を伝え、みんなで見送る「お別れ会」の開催です。

二つ目は、(新)南の口公園のオープン後を見据えた企画づくりです。今年度中の実施には至りませんでしたが、次年度のオープニングイベントに向けて、必要なことや、やってみたいことを整理しました。

第1回のサポーター会議では、これまでの取り組みを振り返り、新しい公園の活動理念について話し合いました。第2回から第4回では「お別れ会」の企画を具体化し、第5回と第6回では、新しい公園のオープニングイベントについて意見を出し合いました。

このように、今年度のサポーター会議では、現在の公園の締めくくりと、新しい公園の始まりの両方を見据えながら、企画と準備を進めました。

サポーター会議などの実施状況は、次のとおりです。

回	日時	内容
1	2025年9月20日(土) 15:00～17:00	これまでの振り返り 活動理念の検討
2	2025年11月1日(土) 14:00～16:30	お別れ会の企画検討1
3	2025年12月6日(土) 14:00～16:30	お別れ会の企画検討2
4	2026年1月17日(土) 14:00～16:30	お別れ会の企画検討3
5	2026年2月7日(土) 14:00～16:30	オープニングイベントに向けた企画検討1
6	2026年3月14日(土) 14:00～16:30	オープニングイベントに向けた企画検討2
7	2026年3月20日(金・祝) 10:00～17:00 ※予備日:3月22日(日)	お別れ会の開催

第1回 9/20 15:00-17:00
(新)南の口公園の理念を考えよう！



(新)南の口公園のオープンに向けて、公園が大切にしたい理念について話し合いました。「夜市」(※詳細は4P参照)を企画したメンバーが中心となりつくった「たたき案」をもとに、グループごとに意見交換をしました。話し合いでは、誰にとっても居心地がよく安心して利用できる公園を目指したいこと、無理のない範囲で活動が続けられる仕組みを整えたいこと、困ったときに支え合える運営体制があると良いことなど、共通した視点が多く見られました。これらを踏まえて、公園を安全で楽しい「みんなの居場所」として長く育てていけるような理念を考えました。

●(新)南の口公園の理念

みんなの居場所をつくる

自然と集い、世代や立場をこえてつながります。
ここに来れば誰かがいて、
安心して過ごせる「顔の見える関係性」が広がります。
ワクワクの輪をひろげながら、
「Ready Go！」の気持ちで歩み出しましょう。

●活動する上で大切にしたいこと

- ・子どもが安心して遊び、大人も学び合える
- ・日常の居心地と、活動を通じた非日常のワクワクが両立
- ・自分のペースで関われるひらかれた活動
- ・みんなでルールを話し合い、安全・安心を守り育てる



第2回 11/10 14:00-16:30
お別れ会の企画を考えよう①



お別れ会を実施するにあたり、4つのチームに分かれて企画を考えました。各チームで出た主なアイデアや意見は次の通りです。

●メインプログラムチーム(タコ遊具のペイント)

- ・寄せ書きや手形などの参加型でできる内容を検討。いずれもやってみないと実現できるかが分からないので試す機会をつくる
- ・衣類が汚れない工夫として、ごみ袋でカップをつくることを検討 など

●飲食・物販チーム

- ・これまで協力してくれた出店者のリストづくりと合わせて新規にも声掛けをしたい
- ・寒い季節での開催なので温かいものを中心にしたい など

●記憶を引き継ぐ(展示・ステージ)チーム

- ・エピソードや写真などを事前に収集し、当日展示できるように考えたい
- ・タコにまつわるプログラムを検討(タコの仮装、ファッションショーなど)
- ・公園を知れるようなクイズ など

●記憶を引き継ぐ(体験)チーム

- ・タコにまつわる遊びを検討(風揚げなど)
- ・昔の写真と同じポーズで撮り直してみる
- ・(新)南の口公園のタコ遊具見学 など

お別れ会を3月20日(金・祝)にて開催します。

次のような基本方針となっています。

1. サポーターが中心となって、企画運営をする
2. 自分たちができる範囲の規模でプログラムを実施
3. 近隣子どもたちに声をかけペイントプログラムを実施
4. サブプログラムも、お別れ会の目的にあったものとする
5. 準備、後片付けは当日行う

事務局からは、広報や消耗品の準備など、必要なサポートを行います。

第3回 12/6 14:00-16:30
お別れ会の企画を考えよう②



お別れ会を開催するにあたり、各チームの企画内容を具体化しました。自分たちが主体となって無理なくできることを考えたり、一緒に企画を進めたい地域の仲間を検討したりしました。

●メインプログラムチーム「過去のタコにサンキュー 未来のタコにレディーゴー」



タコ遊具への感謝とお別れを目的に、参加者がマジックでメッセージや絵を描ける企画を考えています。安全面に配慮し描く範囲や内容のルールを設定したり、準備物の検討なども進めています。

●飲食・物販チーム「つながるマルシェ」



飲食店や物販を中心に、にぎやかな空間になるように企画しています。今回は、団体としての口座がないため出店料は無料とするが、次回以降は公園運営費に充当できるように、出店者には、周知も進めていきたいと考えています。

●記憶を引き継ぐ(展示・ステージ)チーム「フォクトパス〜栄光の架橋〜」



公園の歴史や思い出を展示し、新しい公園への期待につなげたいと考えています。写真を募集したり、資料収集を進めたいと考えています。その他、工事のプロセスの上映や、大声コンテンツなども考えています。

●記憶を引き継ぐ(体験)チーム「元気に羽ばたけたこ！」



主に子ども達を対象にした、風づくりや、鯉のぼりならぬタコのぼりの制作体験を考えています。風は、(新)南の口公園オープン時に揚げてもらいたいと考えています。小学校や老人会と連携し、材料の確保や試作に取り組んでいきたいと考えています。

6. 企画を整えよう

各チームの企画内容は以下のとおりです。



●メインプログラムチーム

子どもたちと一緒にタコ遊具にメッセージを書いていく企画です。公園やタコの思い出やメッセージなどを中心とし、個人が特定できる表現や不適切な表現は禁止する方針としています。あわせて、安全管理を行いながら実施することを確認しました。実施時間は11時から17時までとし、参加者とともに、午前・午後・終了時の計3回、写真撮影を行う予定です。

●ステージ・展示チーム

これまでの公園の歩みを振り返る展示を行います。公園の歴史年表や写真を掲示し、来場者に当時の思い出を書き込んでもらう参加型の展示とします。あわせて、大庄西中学校の歴史を紹介するパネルも設置する予定です。ステージ企画は音楽ライブを中心に実施し、開会と同時に開始、16時頃に終了する予定です。出演者は、これまで社会実験などに関わってきた団体を中心に調整しています。

●販売、物販チーム

物販・飲食・ゲーム・キッチンカーをあわせて、全17店舗の出店を予定しています。出店ブースは、ステージ周辺にL字型で配置する計画です。出店者向けの説明会は2月19日に開催予定であり、ごみ箱の各店舗での用意や、売上報告への協力など、今後のイベント運営に関する事項を共有する予定です。予備日については、事前に出店者へ連絡し、状況に応じて判断する方針としています。

●体験チーム

凧づくりの体験を実施し、完成後はタコ遊具の外周で試し揚げを楽しめる内容とします。実施時間は10時から17時までの予定です。4部制(各回10名)とし、参加者が多い場合は整理券の配布などを含め、柔軟に対応します。スタッフが準備を行い、参加者には絵を描く工程を担当してもらいます。完成した作品の一部は会場に展示し、会場の雰囲気づくりにも活用する予定です。

ホームページ

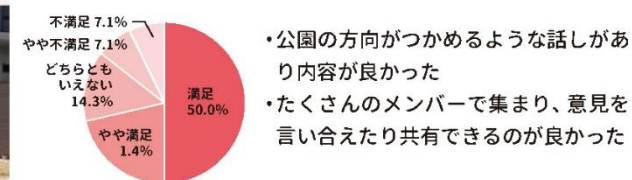


新しい公園のオープンに向けて、WEBサイトを開設しました。サポーター会議の内容を発信したり、イベントの様子を発信していきます。



アンケート結果

●今日のサポーター会議はいかがでしたか？



●意見交換で印象に残ったことや気になったこと

- <ルールの検討について>
- ・ルールが多くなりすぎると活動が制限されると思う
 - ・ルールではなくマナーを大切にする人が増えると良い
- <お別れ会の企画について>
- ・前向きな人が多いと感じた
 - ・タコ公園でタコを飛ばす話に感動した
 - ・たこあげ、たこが魅力的だった

新 南の口公園を使いこなすサポーター会議

第4回 2026.1.17. ③ 14:00-16:30

会場:大庄北生涯学習プラザ



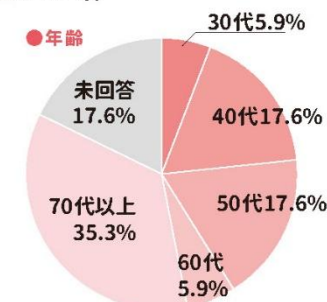
プログラム

- 1 はじめに
- 2 この事業について
- 3 前回のふりかえり
- 4 公園のルールを考えよう
- 5 広報を考えよう
- 6 企画を整えよう
- 7 共有
- 8 おわりに

1. はじめに

今回のサポーター会議は、4回目となります。前回から検討している現南の口公園のお別れ会の企画の検討を、チームに分かれて進めました。加えて、新しい公園の整備の工事の進捗状況や変更点について共有しました。さらに、新しい公園の開園に向けて、園内の使い方やルールも地域のみなさんと一緒に考えました。今回は、バスケットボールコートについての使い方について意見交換をしました。

参加人数：17名



第5回サポーター会議のご案内

日時 2026年2月7日(土) 14:00~16:30

会場 大庄北生涯学習プラザ1階ミニホール

尼崎市大庄地域課・公園計画・21世紀の森担当、公園維持課 運営:studio-L

2. この事業について 公園整備の状況について (公園計画・21世紀の森担当より)

尼崎市より以下のような工事の進捗報告がありました。

工事の進捗

- ・広場や遊具、ステージなどの整備は順次完成に近づいている
- ・タコの遊具を含む各遊具は、今月中に設置予定である
- ・防災機能として、マンホールトイレおよび貯水槽の整備は完了している

計画内容の変更

- ・防火水槽は、工事による周辺環境への影響を考慮し、関係機関との協議を踏まえて設置しないこととなった
- ・貯水槽は、非常時に消防活動にも活用できる仕様とする。ただし、周辺の消防水利に関する機能は満足できている

開園時期

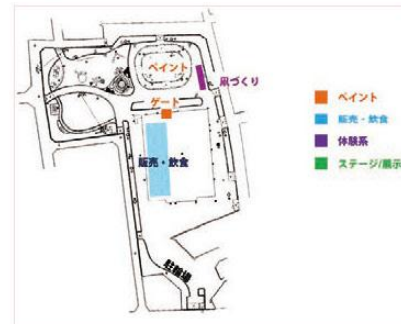
- ・完成時期は当初の予定より遅れる見込みである
- ・現南の口公園の開園期間は3月末から6月中旬頃まで延長される
- ・3月20日のお別れ会後も、公園は引き続き利用可能である



3. 前回のふりかえり

次に、前回までの振り返りとして、お別れ会の開催趣旨および進め方と各プログラムの検討状況について、事務局から説明がありました。

現時点での各プログラムの実施内容や開催場所などは、下図のとおりです。



各チームの進捗状況

ペイント企画

- ・マジックで思い出を書く
- ・タコ遊具の頭部に鉢巻のような形で「ありがとう」と書いた用紙を巻く
- ・植栽付近にゲートをつくる

販売・飲食

- ・出店者を調整中
- ・出展エリアを調整中

ステージ・展示

- ・ステージ、展示の各企画詳細を検討中

体験

- ・風づくりを予定しているその作成キットの試作中
- ・場所は風遊具の東側
- ・60分程度のプログラムで(50分制作、10分風あげ)

企画目的

目的①:世代を超えて“ありがとう”を伝える

- ・おじいちゃん世代から今の子どもたちまでの思い出が詰まった場所
- ・多くの思い出に感謝・今の公園から、これからの公園へ気持ちをつなぐ
- 目的②:みんなで作るお別れ会にする
- ・活動者・住民・行政等が無理のないサイズ感で協働して企画
- ・この後も地域の人が関わりが持てるようなきっかけ

公園への感謝を共有し、地域みんなで作るお別れ会にする

日程

3月20日(金・祝) 10:00-17:00(仮) [予備日3月22日(日) 10:00-17:00]

決まっていること

- ・この企画はサポーターの方が中心となって、企画運営をする
- ・自分たちができる範囲の規模でプログラムを実施
- ・近隣の子どもたちに声をかけるペイントプログラムを実施
- ・サブのプログラムも、お別れ会の目的にあったプログラムとする
- ・準備、後片付け(清掃活動)も当日行う

事務局からのサポート

広報サポート・消耗品(軍手など)

3. 公園のルールを考えよう

公園に整備予定のバスケットボールコートについて、利用ルールや使い方を考える意見交換を行いました。

この場でルールを決定するのではなく、実際に利用する市民の視点から、できるだけ多様な意見を集めることが目的でした。他地域のバスケットボールコートの事例を紹介し、混雑時の利用方法や利用時間、音への配慮などを参考にしながら意見交換を行いました。また、公園全体についても気になる点がないか意見を出し合いました。今回の意見を参考に、さらに検討を重ね、実際に運用しながら必要に応じて見直しを行い、安心して使い続けられる仕組みを検討していく予定です。



バスケットボールコートの利用に関して

●利用時間

- ・利用時間は夕食の頃まで
- ・夜間の利用は避ける(21~22時以降)
- ・利用開始の時間は早くても7時から
- ・子供と大人で利用時間を分ける
- ・冬季は午後5時まで
- ・他地域の事例と同じく9時から18時
- ・ワンブレイの時間を決め独占しない

●その他、気になること

- ・あまり禁止ばかりにしたくない
- ・発散させてあげたいが全てOKというわけにもいかない
- ・メンテナンスも協働で行っていくのか?
- ・見回りは散歩と組み合わせると良い

公園全体の利用に関して

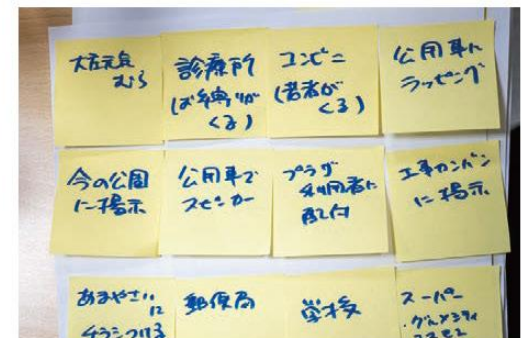
- ・ゴミや犬の糞は持ち帰る
- ・タバコや酒などマナーを守ってほしい
- ・手持ち花火ができるような仕組みを考えたい
- ・球技の利用はどこまでできるか考えたい
- ・コンビニなどに駐車しないか心配

4. 広報を考えよう

お別れ会の広報について、チラシの配布先や配布の仕方などについて意見交換を行いました。

広報素材(タイトル、日時、場所、内容、持ち物、申込の有無など)は1月末までに整理し、2月上旬にチラシを作成する予定です。完成したチラシは2月のサポーター会議で共有し、確認後に印刷を行います。

施設での配布のほか、近隣住民へのポスティング、ホームページやSNSなど複数の方法で周知していく予定です。



主な広報先の候補

●活動団体

- ・大塚元気むら
- ・つどい場会議

●公共施設、設備

- ・現公園に掲示
- ・新公園の看板に掲示
- ・プラザ利用者に配布
- ・あまやさいにチラシをつける
- ・公用車(ラッピング、スピーカー)
- 教育機関
- ・幼稚園、保育所、小・中学校

- ・尼崎西高校
- ・武庫川女子大学
- ・大塚西中学の卒業生
- 周辺地域
- ・チラシ回覧
- ・掲示板
- 商店
- ・コンビニ
- ・スーパー
- ・ドラッグストア
- ・温泉施設

●金融機関

- ・郵便局
- ・銀行
- ・尼崎信用金庫
- ・JA
- 医療、福祉
- ・診療所
- ・介護施設
- 交通機関
- ・バス停
- ・阪神電車

「タコ公園さよなら感謝祭」のチラシができました



日程 3月20日(金・祝) 10:00-17:00 <予備日> 3月22日(日) 10:00-17:00

目的① 世代を超えて“ありがとう”を伝える

- ・おじいちゃん世代から今の子どもたちまでの思い出が詰まった場所
- ・多くの思い出に感謝・今の公園から、これからの公園へ気持ちをつなぐ

目的② みんなでつくるお別れ会にする

- ・活動者・住民・行政等が無理のないサイズ感で協働して企画
- ・この後も地域の人に関わりが持てるようなきっかけ

公園への感謝を共有し、地域みんなでつくるお別れ会にする

ホームページ

新しい公園のオープンに向けて、WEBサイトを開設しました。サポーター会議の内容を発信したり、イベントの様子を発信していきます。



第6回サポーター会議のご案内

日時 2026年3月14日(土) 14:00~16:30 会場 大庄北生涯学習プラザ 1階ミニホール



新南の口公園を使いこなすサポーター会議

第5回 2026.2.7. ④ 14:00-16:30

会場 大庄北生涯学習プラザ



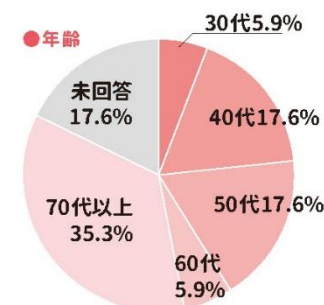
プログラム

- 1 はじめに・あいさつ
- 2 この事業について
- 3 オープニングを考えよう
- 4 お別れ会の広報を考えよう
- 5 お別れ会の企画を考えよう

1. はじめに

新しい公園の形が少しずつ整ってきているのを感じられるようになってきており、「どんな公園になるのだろう」とワクワクが高まる時期になってきました。今回はこれまで積み重ねてきた現南の口公園のお別れ会の企画を詰める回となりました。各チームの詳細なタイムテーブルや広報、当日の役割分担について話し合いました。さらに今回からは、新しい公園のオープニングについての話し合いも始まりました。いつ、どんな内容でやりたいかの頭出しをし、イメージを膨らませました。

参加人数：16名



尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森担当、公園維持課 運営：studio-L

2. この事業について「コア会議からの報告」

コア会議の活動状況について報告をしました。前回のコア会議では主に2つのことを議論しました。一つは公園のルール検討で、特にバスケットボールコートの利用ルールについて。もう一つはサポーター組織の体制整備です。現在話していることは下記の通りです。

コア会議の検討内容

- ・サポーター組織を任意団体として立ち上げる方針を確認
- ・代表・副代表・アドバイザーを設置予定(候補選定中)
- ・若い世代も動きやすい体制づくり、情報共有の徹底
- ・団体規約のたたき案を作成中(継続検討)
- ・口座開設を検討中(ゆうちょ、または地元銀行)
- ・団体名は「WOECタコベース」に決定
- ・バスケットボールコート利用ルールも継続検討



3. オープニングを考えよう

新しい公園のオープニングイベントについて、4チームに分かれて時期とプログラム案を話し合いました。



開催時期についてのアイデア

- ・7月末: 芝生広場の完成時期と重なれば、芝生を活かした企画が可能。
- ・8月(夜間開催案): 昼間の猛暑を避けて夜間に実施する案。ただし子どもの参加時間への配慮が必要。
- ・10月: 気候がよく屋外企画に適している。準備期間も十分に確保できる。開園から時間が空く場合は「地域共同型イベント」等の名称で実施する案も。
- ・11月末: 部活動の大会が終わり子どもが集まりやすい時期。

やってみたい企画アイデア

オープニング演出	テープカット、ジェット風船を飛ばす(回収可能)など、開園を祝う演出
ステージ・音楽・パフォーマンス	音楽ライブ、兵庫県警音楽隊、大庄元気むらで活躍するバンド、若手マジシャン(ステージマジック)、大道芸などの出演者
スポーツ	運動会的な企画、バスケット3on3、モルック、プロ選手(アイスホッケー・ボート競技)の招待
体験・遊び	公園全体を巡るスタンプラリー、仮装大会、輪投げ、体験型すごろく(自分がコマになって移動)、移動動物園、けん玉ギネスチャレンジ、ドッグランなど
制作・ワークショップ	旧タコ公園のタコのかけらをを使ったキーホルダー制作ワークショップ、大庄中学校美術部による記念看板制作(継続利用)など
マルシェ・飲食	マルシェを出店し、出店料でステージの出演費を捻出する
地域連携・参加拡大	武庫川女子大学の学生、近隣保育園の子どもたち、地域クラブ(楽器・ダンスなど)の参加を呼びかけ、関わる人を広げたい。締めにフォークダンスで全員が一つになる場
8月(夜間)案	昼間の暑さを避け、夜間に地域の盆踊りなどと連動する案。子どもの参加時間への配慮が必要

4. お別れ会の広報を考えよう

お別れ会のチラシが完成しました。タイトルは「タコ公園さよなら感謝祭」。チラシは2月19日の出店者向け説明会に合わせて印刷し、その後各所への配布を開始します。

配布場所

- ①社協回覧(大庄地区全連協約2,300部)⇒社協の協力により実施
- ②市のHP・SNS・市報掲載⇒行政(studio-L)が実施
- ③9/20第1回サポーター会議の広報テーブルで出た方法⇒サポーターと協働して実施
- ・小学校への配布(大庄地区全小学校2,060部)
- ・中学校への配布(大庄地区全中学校1,070部)
- ・人の集まる場所へのポスター掲示(スーパー・コンビニ・等)
- ・現南の口公園周辺住民への説明&ポスティング



配布予定の候補地

5. お別れ会の企画を考えよう

お別れ会に向けて各チームが話し合ったことは下記の通りです。

●メインプログラムチーム

来場者がマジックでメッセージを書く際のルールは「イニシャル・あだ名で記入すること」「思い出・感謝の言葉を書くこと」「本名・個人情報・誹謗中傷はNG」を予定しています。当日は3名体制で運営します。受付(マジック配布・ルール説明)、タコ表側(マジック回収・ルール確認)、タコ裏側(誘導・対応)に1名ずつ。写真撮影は10:00・13:30・17:00の計3回行います。



●ステージ・展示チーム

展示は、南の口公園や大庄西中学校の歴史年表を掲示します。来場者が思い出などを書ける参加型の展示にします。当初16:00終了の予定でしたが、16:45の集合写真まで延長することにしました。また、休憩時間中のBGMとして大庄西中学校の校歌ピアノ演奏バージョンを流す演出を予定しています。



●販売、物販チーム

出店者はほぼ確定し、当日の役割分担も調整済みです。2月19日出店者向け説明会を開催予定。会場設備として立食テーブル10脚を組み立てます。ごみ対応は、原則として各店舗が回収します。延期の判断は2日前を目安に行い(過去の夜市の事例)、飲食店への連絡を最優先に、出演者への連絡も行いたいと考えています。



●体験チーム

これまで「4部制」で進めていた凧(タコ)づくり体験を、10:00~17:00の通し運用に変更することにしました。制作体験の横に輪投げ2セットを設置し、自由参加できる形にします。次回のサポーター会議の前に集まり、材料・備品の確認と試作を行う予定です。



「タコ公園さよなら感謝祭」を開催します！



日程

3月20日（金・祝）10:00-17:00

<予備日> 3月22日（日）10:00-17:00



詳細はこちら

目的①

世代を超えて“ありがとう”を伝える

- ・おじいちゃん世代から今の子どもたちまでの思い出が詰まった場所
- ・多くの思い出に感謝・今の公園から、これからの公園へ気持ちをつなぐ

目的②

みんなでつくるお別れ会にする

- ・活動者・住民・行政等が無理のないサイズ感で協働して企画
- ・この後も地域の人が関わりが持てるようなきっかけ

公園への感謝を共有し、地域みんなでつくるお別れ会にする

●今年度のサポーター会議の振り返り（「タコ公園さよなら感謝祭」ができるまで）



(新)南の口公園の開園に向けて、公園の利用にあたり大切にしたい理念について話し合いました。



お別れ会の実施に向けて、必要な道具や役割分担を整理するなど、より具体的な内容の検討を行いました。



お別れ会の実施に向けて、4つのチーム（イベント、物販・飲食、展示・ステージ、体験）に分かれ、アイデア出しを行いました。



(新)南の口公園のオープニングイベントについて、実施するとしたらどのようなことに取り組みたいか、アイデア出しを行いました。その後、お別れ会の準備も進めました。



各チームの企画内容を具体化しました。無理なく実施できる方法や、共に企画を進めたい地域の仲間についても検討しました。



オープニングイベントを「第1回地域協働型イベント」と位置づけ、公園内の各場所で実施できる企画を検討しました。また、お別れ会に向けた最終確認をしました。

ホームページ

新しい公園のオープンに向けて、WEBサイトを開設しました。サポーター会議の内容を発信したり、イベントの様子を発信していきます。



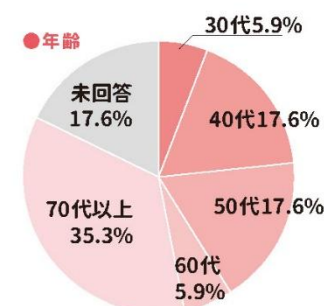
プログラム

- 1 はじめに・あいさつ
- 2 この事業について
- 3 オープニングを考えよう
- 4 お別れ会で目指すことを再度確認
- 5 お別れ会の企画を考えよう

1. はじめに

1週間後（3月20日）に開催する南の口公園のお別れ会イベント「タコ公園さよなら感謝祭」に向けて、当日の役割分担やチームごとの最終調整を行いました。あわせて、新公園のオープニングについては、今後地域と継続的に関わりを築いていくという思いから「第1回 地域協働型イベント」として位置づけを見直し、園内の場所別に実施してみたいプログラムのアイデアを検討しました。

参加人数：16名



2. この事業について「コア会議からの報告」

前回のコア会議では、主に「バスケットボールコート利用ルール」と「サポーター組織の体制整備」の2つを議論しました。今回のサポーター会議ではその検討状況を共有しました。



バスケットボールコートのルールについて

- ・「禁止事項」を並べるのではなく、促す表現を基本とする
- ・最初から厳格化せず、まずは運用→検証→改善の流れで進める
- ・利用時間：開始9時／終了 春～秋18時、冬季17時（住宅地・子どもの生活リズムへの配慮）
- ・交代ルールは事務局では設けず、利用者同士のマナーに委ねる

任意団体の立ち上げについて

- ・任意団体として立ち上げ、4月以降に団体化を進める
- ・若い世代が動きやすい体制を重視し、地域から「勝手にやっている」と見えないよう配慮
- ・体制案（暫定）：代表1名、副代表1名、会計1名
- ・地域や外部とのつなぎ役として「アドバイザー的役割」を設定
- ・団体名称：WOEC（オイシー）タコベース

3. オープニングを考えよう

新公園のオープニングイベントは、「第1回地域協働型イベント」として位置づけ、継続的に地域と関わりをつくる方針になりました。場所ごとにプログラムに関する意見交換を行い、以下のようなアイデアが出ました。



やってみたい企画アイデア

芝生広場・ステージ	青空ヨガ／ピラティス／シェイプアップ教室、寝転び体験。親子向けリユース会＋保健師常駐の子育て相談、音楽ライブ、夜の映画鑑賞会・光のイベント、柿の種飛ばしや巻き寿司づくりなどのギネス挑戦、ペットボトルロケット大会、ゴム動力プロペラ機の飛行大会
多目的広場	ポッチャ、モルック、親子ゲーム大会、年代別（10代／20代／30代…）で競う地域対抗リレー・運動会、ドッグランの暫定開放イベント、4月施行の青切符に合わせた自転車安全講習
バスケットコート	3on3大会の開催、試合を通じて利用マナー・ルールの声かけ・浸透を図る
遊具広場	遊具の使い方ツアー、タイムトライアル等の競争要素を加えて楽しむ
公園全体・その他	草引き・ごみ拾いなどのクリーンアップイベント、マルシェ／キッチンカー、地元野菜販売。旧公園の木材を使った木のスプーンづくり、夜のキャンドルづくり、仮装大会×他企画（仮装＋だるまさんがころんだ等）で幅広い層に参加してもらう

● アンケート案について

協働型イベントでは、当日は来場者にアンケートを配り、シール投票形式でやってみたいことを集めたいといったアイデアがありました。日中（ピクニック、親子ゲーム、音楽など）と夜間（映画鑑賞会、光の演出など）を分けるのも良いのではないかという意見もありました。また、周辺の幼稚園・保育園にも招待状を出し、参加者を広げるといったアイデアもありました。

● 開園時に開催するプログラム「テーブルカット・公園ツアー」

協働型イベントとは別に、開園時にはテーブルカットや公園ツアーを行う案が出ました。新しい遊具の正しい使い方や安全な利用方法を地域みなさんに知ってもらい、日常的な利用につなげたいといったアイデアがでました。

4. お別れ会で目指すことを再度確認

当日の運営が具体化するタイミングで、改めてお別れ会の目的を共有しました。

- 目的① 世代を超えて「ありがとう」を伝える
目的② みんなでつくるお別れ会にする

5. お別れ会の企画を考えよう

全体の運営にあたる役割分担を検討しました。各チームのプログラムを調整して、全体運営（駐輪誘導、総合受付対応など）や巡回警備を東大島社会福祉連絡協議会防犯部に協力して頂くなどし、人員を配置できるようにしました。



前日準備も
みんなでした



お別れ会イベントの前日準備として、会場設営に必要な備品の運搬や環境整備を行いました。椅子や長机、芝生マット、のぼりなどをミニホールへ運び込みました。

あわせて、南の口公園の清掃を行いました。落ち葉やごみを取り除き、翌日のイベントを気持ちよく迎えるための環境を整えました。



4-3 社会実験当日の実施概要

(1) 概要

「現南の口公園お別れ会」は、2026年3月20日（金・祝）10時から17時まで、現南の口公園で開催しました。

本企画は、地域みなさんに長年親しまれてきた公園へ感謝を伝え、これまでの思い出を振り返りながら、新しい公園へ気持ちをつなぐ機会として実施しました。また、地域住民が主体となり、無理のない規模で企画・運営できるかを確かめることも、社会実験の重要なテーマでした。

当日は、サポーターを中心に、タコ遊具へのペイント、展示、ステージ、体験、飲食・物販などのプログラムを行いました。総来場者数は約2,000人にのぼり、子どもから高齢者まで幅広い世代が来場しました。このことから、現南の口公園が多く地域の住民に親しまれてきたことや、公園との別れに対する地域の関心の高さを確認することができました。

(2) 実施プログラム

当日は、主に以下の4つの柱でプログラムを実施しました。

1) タコ遊具ペイントプログラム

南の口公園のシンボルとして親しまれてきたタコ遊具に、思い出や感謝を込めたメッセージや絵を描く参加型プログラムを実施しました。来場者がそれぞれの記憶を表現し、公園で育まれてきた時間を共有する機会となりました。

2) 展示とステージのプログラム

公園の歴史年表や写真を展示し、来場者が当時の思い出を書き込めるコーナーを設けました。ステージでは音楽ライブなどを行い、公園で過ごす最後のひとときを多くの人と共有しました。

3) 飲食・物販のプログラム

飲食や物販、ゲーム、キッチンカーなどの出店を行いました。食べる、遊ぶ、語り合うことを通じて自然に交流が生まれ、みんなで公園との節目を共有する場となりました。

4) 凧づくりプログラム

タコ遊具にちなんだ凧づくりを実施しました。参加者が自由に絵を描き、自分だけの凧をつくる内容とし、あわせてタコをモチーフにした遊びも行いました。子どもを中心に、見る・つくる・遊ぶことを一体的に楽しめる体験となりました。

(新) 南の口公園 開園までのスケジュール



2023年度 タコピッチ



地域の人たちが、新しい公園ができたらやってみたいことをプレゼンしました。同時にTシャツペイントイベントも開催し、たくさん子どもたちが参加する機会になりました。

2024年度 タコフェス



サポーター会議を通して、新しい公園ができたらやってみたい企画を考えました。そして、会議に参加しているメンバーが主体となって企画・運営を行い、5つのイベントを実施し、新しい公園のイメージを膨らませました。

2024年度 タコフェス夜市



タコフェスを経験し、地域住民主催でも企画ができるのではないかと、この思いから実施したイベント。公園でのドッグランや、夜間の音楽イベント、マルシェなどを通じて、世代を超えて楽しめる場になりました。

(新) 南の口公園のホームページができました



(新) 南の口公園のオープンに向けて、ホームページを開設しました。サポーター会議の様子や、今後予定しているイベントなどを紹介していきます。また、今回紹介している各回の取り組みについても、より詳しい内容をホームページからご覧いただけます。



<https://shin-mkp.jp/>

問い合わせ・サポーター会議への参加方法

サポーター会議は、「(新) 南の口公園のことを考えてい!」「何か企画をしてみたい!」と思う方など、どなたでも参加できる取り組みです。また、希望者で集まり、公園のルール検討等を行うコア会議も開催しています。参加方法など詳しく知りたい方は、右記の窓口までお問い合わせください。

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森担当、公園維持課
運 営 studio-L
問 合 先 尼崎市大庄地域課
(大島3-9-25 大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
F A X 06-6419-8226
M a i l ama-osyo-chiiki@city.amagasaki.hyogo.jp

タコ公園 さよなら 感謝祭 NEWSLETTER

地域の人たちに親しまれてきた南の口公園のお別れ会となる感謝祭を開催しました。当日は約2,000人が来場し、これまでの思い出や日常の時間を振り返りながら、公園への「ありがとう」を伝え、地域の人々で見送る一日となりました。展示やステージ、体験プログラムなど多彩な企画が行われ、これまでの歩みを共有するとともに、新しい公園への期待を感じられる機会となりました。



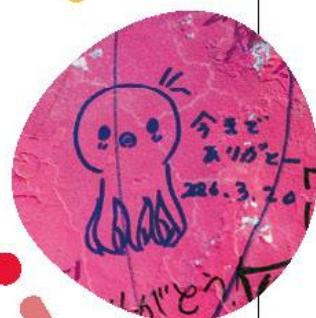
—日時—
2026.3.20

—会場—
南の口公園
尼崎市大島3丁目11



タコ遊具ペイントプログラム

南の口公園のシンボルとして長年親しまれてきたタコの遊具に、これまでの思い出や感謝の気持ちを込めてメッセージを書くペイントプログラムを開催しました。小さな子どもから、かつて公園で遊んでいた人まで幅広い世代が参加し、感謝の言葉や絵を描きました。個々の記憶や愛着が可視化され、公園への感謝の気持ちを地域全体で伝える場となりました。



飲食と物販のプログラム

飲食やものづくりなど、さまざまなお店が出店するマルシェを開催しました。地域の店舗や出店者が集まり、多様な魅力に触れられる場となりました。来場者は、友人や家族と食事や買い物を楽しみながら、南の口公園で積み重ねてきた日常の時間や記憶を振り返る機会となりました。



展示とステージプログラム

南の口公園の歴史を振り返る展示と、地域の人たちが活躍するステージプログラムを開催しました。歴史展示では、かつての写真を見ながら懐かしむ姿や、当時の思い出を語り合う様子が見られました。ステージプログラムでは、地域の団体などによる発表が行われ、来場者が足を止めて楽しむ姿が多く見られました。



展示とステージプログラム

タコ遊具にちなんで、凾をつくるプログラムを開催しました。参加者は自由に絵を描きながら、自分だけの凾を仕上げていきました。ものづくりを通じて公園での時間を共有する機会となりました。



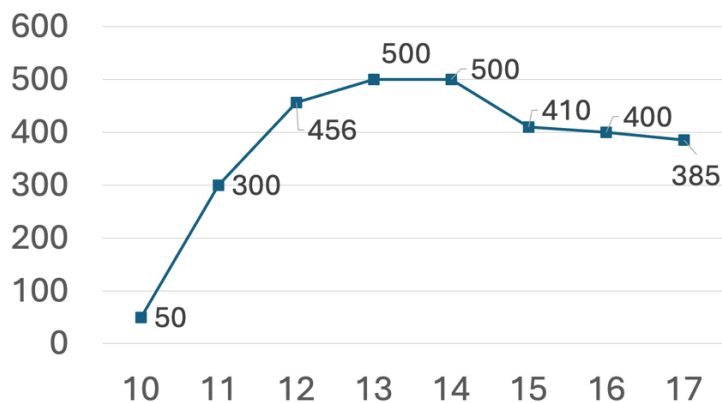
4-4 アンケート調査と結果

(1) アンケート調査の概要

社会実験当日は、来場者の年齢や居住地、参加のきっかけなどを把握するため、会場内にアンケートボードを設置し、回答を呼びかけました。

また、時間帯ごとの来場者数を集計しました。12時、15時、17時は実測し、それ以外の時間帯は会場の状況をもとに推計した結果、当日の総来場者数は約2,000人となりました。

総来場者数：約2,000人



▲時間ごとの来場者数の集計（12時、15時、17時は実測値、その他の時間は予想値）

(2) 来場者の傾向

年齢では、「19歳以下」が75人（34.9%）と最も多く、次いで「40代」が36人（16.7%）、「30代」が27人（12.6%）でした。子どもと、その保護者にあたる世代の来場が多かったことがうかがえます。

居住地では、「大庄地域内」が112人（64.4%）、「尼崎市内」が37人（21.3%）、「尼崎市外」が25人（14.4%）でした。大庄地域内と尼崎市内を合わせると85.7%となり、地域住民を中心とした催しであったことが分かります。

また、南の口公園が新しくなることを知っていた人は149人（98.0%）で、来場者の多くが公園の更新について認識していました。

(3) 参加のきっかけ

参加のきっかけでは、「チラシ」が60人（36.8%）と最も多く、次いで「回覧板」が34人（20.9%）、「知人の紹介」が25人（15.3%）、「町内の掲示板」が17人（10.4%）でした。

一方、「SNS」は9人（5.5%）、「尼崎市ホームページ」は2人（1.2%）にとどまりました。今回のような地域密着型の催しでは、チラシや回覧板、掲示板、口コミなど、地域の日常的なつながりを通じた周知が有効であったことが分かります。

年齢を教えてください

	計	割合
19歳以下	75	34.9
20代	14	6.5
30代	27	12.6
40代	36	16.7
50代	19	8.8
60代	13	6.0
70代	18	8.4
80代以上	13	6.0
	215	100

何を見て参加されましたか？

	計	割合
チラシ	60	36.8
回覧板	34	20.9
町内の掲示板	17	10.4
知人の紹介	25	15.3
尼崎市ホームページ	2	1.2
SNS	9	5.5
その他	16	9.8
	163	100.0

居住地を教えてください

	計	割合
大庄地域内	112	64.4
尼崎市内	37	21.3
尼崎市外	25	14.4
	174	100.0

南の口公園が新しくなることはご存知ですか？

	計	割合
はい	149	98.0
いいえ	3	2.0
	152	100.0

（4）結果から見えること

アンケート結果から、近隣に住む子どもや保護者世代を中心に、多くの地域住民が来場したことが確認できました。近隣の小学校へのチラシ配布や回覧板など、地域に根差した周知が参加につながったと考えられます。

また、来場者のほとんどが公園の更新を知っていたことから、南の口公園の整備に対する地域の関心の高さもうかがえます。

以上から、本社会実験は、南の口公園に関心を持つ地域住民の参加を促し、現公園への感謝や思い出を共有する、地域に開かれたお別れの間となったと考えられます。今後、地域外の人にも活動を広げていく場合は、紙媒体や口コミを基本としながら、ホームページやSNSをどのように組み合わせるかについても検討が必要です。

オープニングイベント開催時期の比較

開催案	主なメリット	主なデメリット	検討結果
4 月開催案	公園オープンタイミングに合わせやすく、開園時の印象を持たせやすい。	準備期間が短く、利用できる会場も限定される。	実施時期としては早く、十分な準備が難しい。
6 月開催案	比較的早い時期に開催できる。	準備期間が短いことに加え、梅雨の時期と重なる可能性がある。	天候リスクが高く、開催時期としては適さない。
8 月開催案	芝生広場のオープン後に開催でき、公園全体を活用しやすい。オープニングとしての認識も高めやすい。	猛暑の影響により、昼間の長時間イベントが難しい。特に子どもの参加に配慮が必要となる。	候補にはなるが、暑熱対策上の課題が大きい。
10 月開催案	季節的に開催しやすく、準備期間を十分に確保できる。協働型公園として内容を練りやすい。	公園オープンから一定期間が空く。他のイベントと重なりやすい。	総合的に見て最も現実的な開催時期と整理した。

比較の結果、十分な準備期間を確保でき、公園全体も活用しやすいことから、第 1 回地域協働型イベントは 10 月を基本に検討することとしました。今後は、地域内外のイベントとの重複などを確認しながら、具体的な開催日を調整します。

5-3 二段階実施の考え方

第 1 回地域協働型イベントを 10 月に開催する場合、公園の供用開始から期間が空きます。そのため、公園のオープン時と 10 月の 2 段階で催しを行う方向性を整理しました。

段階	開催時期	位置づけ	主な内容
第 1 段階	公園の供用開始時	開園を地域と共有する場	テープカット、公園散策など
第 2 段階	10 月	地域協働による公園運営を实践する場	地域住民や運営団体による企画・運営

5-4 実施内容の整理

2月と3月のサポーター会議では、第1回地域協働型イベントで実施したい企画について意見を出し合いました。

検討では、新しい公園やコミュニティスペースの特徴を活かすこと、多様な世代が参加できること、今後の地域主体の活動につながることを大切にしました。

出された企画は、次の9つに分類しました。

1. からだを動かす企画	2. 親子・子ども向けの遊び企画	3. ステージ・鑑賞・音楽企画	4. 芝生広場を活かしたゆったり系企画	5. ものづくり・体験企画
・3on3 ・ミニバスケット大会 ・走ってはいけないバスケット ・ドッチビー ・ポッチャ、モルック ・ウォーターバトル ・SASUKE ・地域対抗リレー ・世代間リレー ・青空ヨガ ・筋トレ ・シェイプアップ ・ヨガ ・ピラティス ・自転車講習	・親子フリー遊び場イベント ・親子宝さがしゲーム ・100人でだるまさんがころんだ ・いろおに ・長ベンチでフルーツバスケット ・たこ上げ ・スタンプラリー ・ポイントラリー ・伝言リレーゲーム ・遊具の使い方ツアー ・遊具やコートの説明・レクチャー	・カラオケ大会 ・夜の映画鑑賞 ・ステージ映画 ・ステージ音楽祭 ・音を楽しむ企画 ・音楽 ・尼西OB歌 ・ムコムコさん（ご当地アイドル） ・福留さん（元AKB）を呼びたい	・芝生ピクニック ・ただ本を読む ・芝生でヨガ or ピラティス ・カフェ ・灯りのイベント、キャンドル ・季節の花と草花を楽しめる場	・木のスプーンづくり ・旧公園の木を使ったものづくり ・手あみ系（かぎ針） ・キャンドルづくり ・みんなで絵描き ・プロペラゴム飛行機 ・ペットボトルロケット大会
6. マルシェ・出店・にぎわい企画	7. 地域交流・多世代交流企画	8. 動物・自然に関する企画	9. 開園記念・オープニング企画	
・縁日 ・フリーマーケット ・夜店 ・マルシェ ・キッチンカー ・地元の野菜売り ・もちつき ・BBQ	・麻雀 ・音遊び、伝承コーナー ・多世代交流企画 ・子どもの服のおゆずり、リユース ・子育て相談 ・盆おどり ・婦人部との連携 ・公園ツアー ・オリエンテーリング	・ドッグラン ・ペットの避難所 ・保護猫譲渡会 ・犬以外の小動物と出会う場 ・移動動物園 ・草花を楽しめる場 ・植樹されている木の名前発見ラリー	・公園オープン前の大そうじ ・テーブルカット ・周辺の幼稚園、保育園の招待 ・オープニング音楽 ・公園ツアー	

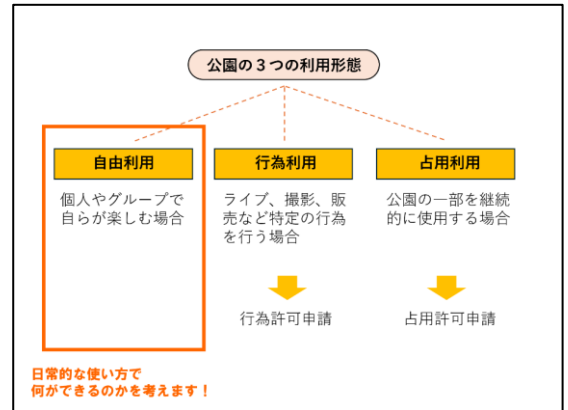
5-5 オープン後の運営を見据えた公園利用ルールを検討

(新) 南の口公園の供用開始後を見据え、日常的な公園利用のルールについて検討しました。

公園の利用形態は、次の3つに整理できます。

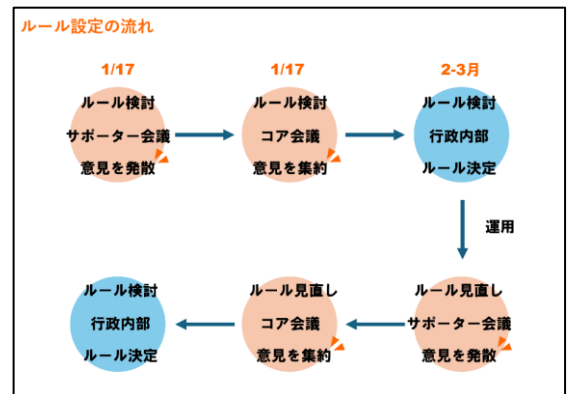
- ・日常的に公園を楽しむ「自由利用」
- ・ライブ、撮影、販売など特定の行為を行う「行為利用」
- ・一定の場所を継続的に使用する「占用利用」

今回の検討では、主に「自由利用」に関するルールを対象としました。



新しい公園の主な利用空間は、芝生広場、多目的広場、バスケットボールコート、遊具広場の4つです。それぞれ使い方が異なるため、空間の特徴に応じたルールを検討することとしました。中でも、利用者同士の調整や近隣への配慮が必要となるバスケットボールコートについて、先行して検討しました。

ルールは、サポーター会議で意見を出し、コア会議で論点を整理したうえで、行政が決定します。その後、実際に運用し、必要に応じて見直します。



バスケットボールコートについては、他都市の事例も参考に、利用時間、譲り合い、禁止事項、迷惑行為、ゴミ、ペットなどの扱いを検討しました。また、ゴミの持ち帰りや火気の禁止などは、公園全体に共通するルールとして整理する必要があります。

今後は、実際の利用状況を確認しながら、芝生広場、多目的広場、遊具広場についても、段階的にルールを整えていきます。

第6章 広報・情報発信支援

6-1 ワークショップチラシの作成

各回のサポーター会議に向けて、新規参加者を募集するチラシを作成し、尼崎市及び(新)南の口公園のホームページに掲載しました。

また、今年度初回のサポーター会議については、周辺住宅へのポスティングや公共施設へのチラシ設置も行い、地域住民への周知を図りました。

新 第1回
南の口公園を使い易く
サポーター会議

9/20(土)
15:00-17:00
大庄北生涯学習プラザ
1階ミニホール

公園リニューアルに向けて
一緒に公園を育ててくれる仲間を募集

令和8年4月にオープン予定の(新)南の口公園及びコミュニティスペースを、「地域の人による 地域のための 地域に愛される公園」にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。来年度に当たる公園のオープンに向けて、今年度はさらに取り組みを進めています。初めての方も大歓迎です!

当日のプログラム

- ・活動報告
- ・今後の運営についての意見交換

募集対象

- ・これまで活動してきた人
- ・これから一緒に活動してくれる人

申込方法

- ・事前予約制
- ・申込締切:2025年9月12日(金)
- ・下記2次元コードよりお申し込みください

申込みフォームはこちら
<https://city.amagasaki.hyogo.jp>

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森部、公園整備課
講 義 shu@l-1
開 会 尼崎市大庄地域課 (大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
FAX 06-6419-8226
Eメール ama-oyoi-chiki@city.amagasaki.hyogo.jp

新 第2回
南の口公園を使い易く
サポーター会議

11/1(土)
14:00-16:30
大庄北生涯学習プラザ
1階ミニホール

公園リニューアルに向けて
一緒に公園を育ててくれる仲間を募集

令和8年4月にオープン予定の(新)南の口公園及びコミュニティスペースを、「地域の人による 地域のための 地域に愛される公園」にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。来年度に当たる公園のオープンに向けて、南の口公園のおかれ会(令和8年3月20日を予定)の企画を進めています。初めての方も大歓迎です!

当日のプログラム

- ・南の口公園のおかれ会企画を考える
- ・会場の前に南の口公園を育てておきたいと思われる方へ、地域のための 地域に愛される公園にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。

募集対象

- ・これから一緒に活動してくれる方
- ・特に関心の高い公園のおかれ会と一緒に企画してくれる方

申込方法

- ・事前予約制
- ・申込締切:2025年10月27日(月)
- ・下記2次元コードよりお申し込みください

申込みフォームはこちら
<https://city.amagasaki.hyogo.jp>

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森部、公園整備課
講 義 shu@l-1
開 会 尼崎市大庄地域課 (大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
FAX 06-6419-8226
Eメール ama-oyoi-chiki@city.amagasaki.hyogo.jp

新 第3回
南の口公園を使い易く
サポーター会議

12/6(土)
14:00-16:30
大庄北生涯学習プラザ
1階ミニホール

公園リニューアルに向けて
一緒に公園を育ててくれる仲間を募集

令和8年4月にオープン予定の(新)南の口公園及びコミュニティスペースを、「地域の人による 地域のための 地域に愛される公園」にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。来年度に当たる公園のオープンに向けて、南の口公園のおかれ会(令和8年3月20日を予定)の企画を進めています。終了後に希望者で集まり、公園のルール検討等も予定しています。

当日のプログラム

- ・南の口公園のおかれ会企画を考える
- ・はじめてご参加される方には、ワークショップ当日の13:30から会場にてこれまでの流れをわかりやすくお伝えします。

募集対象

- ・初めての方も大歓迎です!
- ・これから一緒に活動してくれる方
- ・特に関心の高い公園のおかれ会と一緒に企画してくれる方

申込方法

- ・事前予約制
- ・申込締切:令和7年12月1日(月)
- ・下記2次元コードよりお申し込みください

申込みフォームはこちら
<https://city.amagasaki.hyogo.jp>

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森部、公園整備課
講 義 shu@l-1
開 会 尼崎市大庄地域課 (大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
FAX 06-6419-8226
Eメール ama-oyoi-chiki@city.amagasaki.hyogo.jp

新 第4回
南の口公園を使い易く
サポーター会議

1/17(土)
14:00-16:30
大庄北生涯学習プラザ
1階ミニホール

公園リニューアルに向けて
一緒に公園を育ててくれる仲間を募集

令和8年4月にオープン予定の(新)南の口公園及びコミュニティスペースを、「地域の人による 地域のための 地域に愛される公園」にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。来年度に当たる公園のオープンに向けて、南の口公園のおかれ会(令和8年3月20日を予定)の企画を進めています。終了後に希望者で集まり、公園のルール検討等も予定しています。

当日のプログラム

- ・南の口公園のおかれ会企画を考える
- ・はじめての方も大歓迎です!

募集対象

- ・これから一緒に活動してくれる方
- ・特に関心の高い公園のおかれ会と一緒に企画してくれる方

申込方法

- ・事前予約制
- ・申込締切:令和8年1月15日(木)
- ・下記2次元コードよりお申し込みください

申込みフォームはこちら
<https://city.amagasaki.hyogo.jp>

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森部、公園整備課
講 義 shu@l-1
開 会 尼崎市大庄地域課 (大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
FAX 06-6419-8226
Eメール ama-oyoi-chiki@city.amagasaki.hyogo.jp

新 第5回
南の口公園を使い易く
サポーター会議

2/7(土)
14:00-16:30
大庄北生涯学習プラザ
1階ミニホール

公園リニューアルに向けて
一緒に公園を育ててくれる仲間を募集

令和8年春ごろオープン(予定広場は夏ごろ)予定の(新)南の口公園及びコミュニティスペースを、「地域の人による 地域のための 地域に愛される公園」にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。来年度に当たる公園のオープンに向けて、南の口公園のおかれ会(令和8年3月20日を予定)の企画を進めています。終了後に希望者で集まり、公園のルール検討等も予定しています。

当日のプログラム

- ・南の口公園のおかれ会や新しい公園のオープニングイベントを考える
- ・はじめての方も大歓迎です!

募集対象

- ・これから一緒に活動してくれる方
- ・初めてご参加される方には、ワークショップ当日の13:30から会場にてこれまでの流れをわかりやすくお伝えします。

申込方法

- ・事前予約制
- ・申込締切:令和8年2月5日(木)
- ・下記2次元コードよりお申し込みください

申込みフォームはこちら
<https://city.amagasaki.hyogo.jp>

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森部、公園整備課
講 義 shu@l-1
開 会 尼崎市大庄地域課 (大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
FAX 06-6419-8226
Eメール ama-oyoi-chiki@city.amagasaki.hyogo.jp

新 第6回
南の口公園を使い易く
サポーター会議

3/14(土)
14:00-16:30
大庄北生涯学習プラザ
1階ミニホール

公園リニューアルに向けて
一緒に公園を育ててくれる仲間を募集

令和8年春ごろオープン(予定広場は夏ごろ)予定の(新)南の口公園及びコミュニティスペースを、「地域の人による 地域のための 地域に愛される公園」にみんなが育てていく取組(タコフェス、夜市等)を実験的に実施してきました。来年度に当たる公園のオープンに向けて、南の口公園のおかれ会(令和8年3月20日を予定)の企画を進めています。終了後に希望者で集まり、次年度のプラン等も予定しています。

当日のプログラム

- ・南の口公園のおかれ会や新しい公園のオープニングイベントを考える
- ・はじめての方も大歓迎です!

募集対象

- ・これから一緒に活動してくれる方
- ・初めてご参加される方には、ワークショップ当日の13:30から会場にてこれまでの流れをわかりやすくお伝えします。

申込方法

- ・事前予約制
- ・申込締切:令和8年3月12日(木)
- ・下記2次元コードよりお申し込みください

申込みフォームはこちら
<https://city.amagasaki.hyogo.jp>

主 催 尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森部、公園整備課
講 義 shu@l-1
開 会 尼崎市大庄地域課 (大庄北生涯学習プラザ)
電 話 06-6419-8221
FAX 06-6419-8226
Eメール ama-oyoi-chiki@city.amagasaki.hyogo.jp

6-2 社会実験チラシ・ポスターの作成

南の口公園のお別れ会に向けて、周辺住民や、かつて公園を利用していた人の参加を促すため、チラシ及びポスターを作成しました。

尼崎市及び（新）南の口公園のホームページに掲載したほか、近隣の小学校や公共施設などにもチラシを設置し、広く参加を呼びかけました。

<チラシ表面>



**タコ公園
さよなら
感謝祭**

地域の人たちに親しまれてきた南の口公園は、この春、新しい公園へと生まれ変わります。みんなで遊んだこと、集まったこと、何気なく過ごした時間。それぞれの思い出が、この場所には積み重なってきました。今回の感謝祭は、南の口公園にこれまでの「ありがとう」を伝え、みんなで見送るためのお別れ会です。公園を舞台に、地域の人たちと一緒につくってきたさまざまなプログラムを体験しながら、この場所で過ごした時間を振り返り、次につながる一日をつくりまします。公園に関わってきた人も、通りがかりに立ち寄っていた人も、最後の時間を一緒に過ごしてみませんか。

雨天の場合3月22日に延期

2026 03.20
10:00~17:00

会場 南の口公園
尼崎市大島3丁目11

共催 WOECTakobase・尼崎市

＜チラシ裏面＞

タコ遊具ペイントプログラム

過去のタコにサンキュー 未来のタコにレディーゴー

南の口公園のシンボルとして、長年親しまれてきたタコの遊具に、これまでの思い出や感謝の気持ちを込めてメッセージを書くペイントプログラムを開催します。公園で過ごした記憶や、タコ遊具とのエピソードなどを言葉や絵で表現し、みんなで共有することで、この場所が育んできた時間を振り返りましょう！



展示とステージプログラム

フォクトパス ～栄光の架橋～

南の口公園のこれまでの歩みを振り返る展示を行います。公園の歴史年表や写真を掲示し、来場者には「当時の思い出」を書き込んでもらう参加型展示とします。あわせて、大庄西中学校の歴史を紹介するパネルも設置します。ステージ企画では、音楽ライブなどを開催します。



会場マップ



飲食と物販のプログラム

つながるマルシェ

物販・飲食・ゲーム・キッチンカーなど、さまざまな出店が公園に並びます。南の口公園で過ごしてきた時間を思い出しながら、食べたり、遊んだり、語り合ったりできる場です。自然と会話が生まれる時間を大切にします。公園に「ありがとう」を伝え、みんなでひとつの節目を共有する一日をつくります。



- 飲食(8店舗)
 - ・WOECタコベース
 - ・スタンだらんぶ
 - ・HAPPY Cafe
 - ・焼肉池田屋
 - ・かあちゃん弁当
 - ・honey bee cafe
 - ・ペーカリーレープ&mamaREVE
 - ・大庄北生涯学習プラザ子ども食堂
- 物販(5店舗)
 - ・まなちゃんの八百屋
 - ・あやとり
 - ・メナード
 - ・コープこうべ
 - ・似顔絵のそっくり屋
- ゲーム(2店舗)
 - ・つどい場食堂
 - ・小さなわが家
- キッチンカー(3店舗)
 - ・bonbon le cocon
 - ・ジャパニーズケバブトルチキ
 - ・伊たこ焼

風づくりプログラム

元気にはばたけたこ！

タコ遊具にちなんで、風をつくるプログラムを開催します。自由に絵を描き、自分だけの風を仕上げていきます。型紙などを用意しているので、はじめての方や小さなお子さんでも気軽に参加できます。他にも、タコをモチーフにした遊びも用意しています。見て・つくって・遊べる体験企画です。



南の口公園移転とWOECタコベースについて

大庄西中学校跡地に南の口公園が移転し、令和8年度に新しい南の口公園が誕生します。協働型公園をコンセプトに、地域の人々が主体となって公園の運営に取り組み、地域に親しまれる場を目指しています。今回のイベントは、公園が供用開始された後の運営方法などを知ることを目的としており、地域住民(WOECタコベース)が主体となって企画・運営しています。

※West Osho Enjoy Communityの略でオイシータコベース

【共催】WOECタコベース、尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森担当 【運営】studio-L

【問合せ】尼崎市大庄地域課(大島3-9-25 大庄北生涯学習プラザ)【電話】06-6419-8221【FAX】06-6419-8226【Mail】ama-osyo-chiiki@city.amagasaki.hyogo.jp

＜ポスター＞

タコ公園 さよなら 感謝祭

地域の人たちに親しまれてきた南の口公園は、この春、新しい公園へと生まれ変わります。みんなで遊んだこと、集まったこと、何気なく過ごした時間。それぞれの思い出が、この場所には積み重なってきました。今回の感謝祭は、南の口公園にこれまでの「ありがとう」を伝え、みんなで見送るためのお別れ会です。公園を舞台に、地域の人たちと一緒につくってきたさまざまなプログラムを体験しながら、この場所で過ごした時間を振り返り、次につながる一日をつくりまします。公園に関わってきた人も、通りがかりに立ち寄っていた人も、最後の時間を一緒に過ごしてみませんか。

タコ遊具ペイントプログラム
過去のタコにサンキュー
未来のタコにレディーゴー

飲食と物販のプログラム
つながるマルシェ

展示とステージプログラム
フォクトパス ～栄光の架橋～

風づくりプログラム
元気にはばたけたこ！

雨天の場合3月22日に延期

2026 03.20
10:00～17:00

会場 南の口公園
尼崎市大島3丁目1-1

【共催】WOECタコベース、尼崎市大庄地域課、公園計画・21世紀の森担当 【運営】studio-L
【問合せ先】尼崎市大庄地域課（大島3-9-25 大庄北生涯学習プラザ）【電話】06-6419-8221【FAX】06-6419-8226【Mail】ama-osyo-chiiki@city.amagasaki.hyogo.jp

6-3 ウェブページの作成

(新) 南の口公園の開園に向けた取り組みを発信するため、専用のホームページを作成しました。サポーター会議や社会実験など、協働型公園の実現に向けた取り組みを継続的に紹介できる構成としています。

今年度は事業者がホームページを運営しましたが、次年度以降は行政やサポーター会議の参加者が更新できるよう、CMS（コンテンツ管理システム）として WordPress を導入しました。これにより、記事の投稿や情報の更新を手軽に行える環境を整備しました。



第7章 総括

7-1 今年度業務の成果

今年度は、新たな運営団体の立ち上げに向けた検討を進めるとともに、社会実験、オープニングイベントの準備、広報・情報発信に取り組みました。これらを通じて、地域と行政が協働して公園を運営していくための、基礎的な考え方と今後の方向性を整理しました。

(1) 運営体制に関する考え方の共有

サポーター会議やコア会議を通じて、活動理念、団体会則、年間活動スケジュール、運営の仕組みなどを検討しました。その中で、公園をさまざまな人が過ごし、できる範囲で関わりながら、地域の居場所として育てていく方向性を共有しました。

(2) 社会実験を通じた公園活用の検証

南の口公園のお別れ会を、サポーター会議の参加者とともに企画・実施しました。当日の運営やアンケート調査を通じて、地域の人々の関心、公園で行いやすい活動、必要な配慮などを確認しました。今後の公園活用や利用ルールを考えるうえで、具体的な経験を得る機会となりました。

(3) 供用開始後を見据えた準備

公園の供用開始時に簡易なセレモニーを行うとともに、10月には地域住民や運営団体が関わる「第1回地域協働型イベント」を開催するという、二段階での実施方針を整理しました。あわせて、公園の利用ルールについても、実際の利用状況を踏まえて見直していく考え方を確認しました。

(4) 広報・情報発信の基盤整備

サポーター会議や社会実験のチラシ・ポスターを作成するとともに、(新)南の口公園のホームページを開設しました。イベント情報だけでなく、公園づくりの経過や活動の考え方を継続的に伝え、新たに関わる人との接点をつくるための基盤を整えました。

7-2 今後の課題

今年度の取り組みにより、協働による公園運営に向けた基礎的な考え方が整理されました。今後は、現在関わっている人だけでなく、これから新たに参画する人も含め、多様な市民が無理なく関われる運営の仕組みを整えていく必要があります。

(1) 参画する市民が関わりやすい運営体制づくり

現在の参加者や今後新たに参画する市民が、それぞれの状況に応じて関われる運営体制を整えることが必要です。継続的に運営に関わる人、活動ごとに協力する人、企画を提案する人など、さまざまな関わり方を認めながら、役割分担や意思決定の方法を検討していくことが重要です。

(2) 対話と実践を通じた運営方法の検討

会議の進め方や活動のつくり方については、現在の参加者だけで決めてしまうのではなく、今後参画する市民の意見も取り入れながら、実践を通じて見直していくことが大切です。小規模な活動を重ね、その経験や課題を共有しながら、この公園に合った運営方法を探っていく必要があります。

(3) 多様な市民の声を取り入れる機会づくり

現在の参加者に加えて、子どもや若者、子育て世帯、近隣住民、地域団体、公園を新たに利用する人など、幅広い立場の声を取り入れていくことが重要です。

会議への継続的な参加だけを求めるのではなく、アンケート、個別の対話、日常的な声かけなど、関わりやすい方法を組み合わせる必要があります。

(4) 活動を支える資源とルールの整理

現在及び今後参画する市民が活動しやすいよう、利用できる場所や備品、必要な手続き、活動費などについて分かりやすく整理する必要があります。

あわせて、行政と運営団体の役割や、資金の得方・使い方、会計処理などについても、関係者が理解しやすく、信頼できる仕組みを整えることが重要です。

(5) 公園への多様な関わり方を伝えること

公園で活動したい人が、相談先や必要な手続き、利用できる場所や条件を理解できるようにする必要があります。また、「利用する」「活動に参加する」「企画する」「運営に関わる」など、さまざまな関わり方があり、自分に合った方法を選べることを伝えていくことも重要です。

(6) 「お客さまではなく仲間」という考え方の共有

この公園では、活動に参加する人を、一方的にサービスを受ける「お客さま」ではなく、それぞれのできる範囲で場をともにつくる「仲間」として捉えることを大切にします。

ただし、すべての人に活動への参加や役割を求めるものではありません。公園で自由に過ごす人、活動に参加する人、企画や運営に関わる人など、それぞれの関わり方を尊重しながら、関心を持った人が無理なく一歩踏み出せる環境を整えていくことが重要です。

7-3 次年度に向けた方向性

次年度は、公園の供用が開始され、利用できる空間や運用条件が具体的になることを踏まえ、今年度に整理した考え方を実際の運営につなげていきます。

(1) 協働による会議運営の実践

サポーター、コアメンバー、行政、支援者が役割を分担しながら、会議の企画、進行、意思決定を行います。実践を通じて、それぞれが無理なく参加できる会議の進め方や、運営団体と行政との連携方法を整えていきます。

(2) 小規模な活動の実施

大きなイベントだけでなく、公園の日常的な利用につながる小規模な活動を実施します。企画した人だけでなく、参加者もできる範囲で関われる余地を設け、活動後には成果や課題を振り返ります。

(3) 地域の団体や関係機関との対話

公園の整備内容を示しながら、地域の活動団体、学校、関係機関などと個別に意見交換を行います。公園でできることや連携の可能性だけでなく、活動に必要な条件や周辺への配慮についても確認し、供用開始後の利用につなげます。

(4) 利用ルールと相談の仕組みづくり

日常利用とイベント利用の違い、行政と運営団体の役割、相談窓口、活動開始までの流れなどを整理します。利用ルールは実際の利用状況を見ながら検証し、必要に応じて見直していきます。ルールを守ってもらうための情報だけでなく、公園でできることや楽しみ方もあわせて伝えます。

(5) 広報・情報発信の継続

チラシ、ホームページ、SNS、ロコミ、地域団体や学校を通じた案内などを、目的に応じて使い分けます。イベントの周知に加え、公園づくりの経過、活動への参加方法、日常的な公園の使い方などを発信し、多様な人が自分に合った方法で関われる環境をつくります。